

一社) 全国住宅産業地域活性化協議会

2025年6月18日

第3回住宅分野における建設技能者
の持続的確保懇談会

①現状

建築大工の高齢化進行と若年層減少は、調査データが示す通りで、地方の工務店においては、採用・定着共に厳しい状況にある。地元で建材事業をしている肌感でも同様で、近年は高校生人材の全国での争奪戦になっており、地元の中小零細工務店はより厳しい環境下にある。

②課題

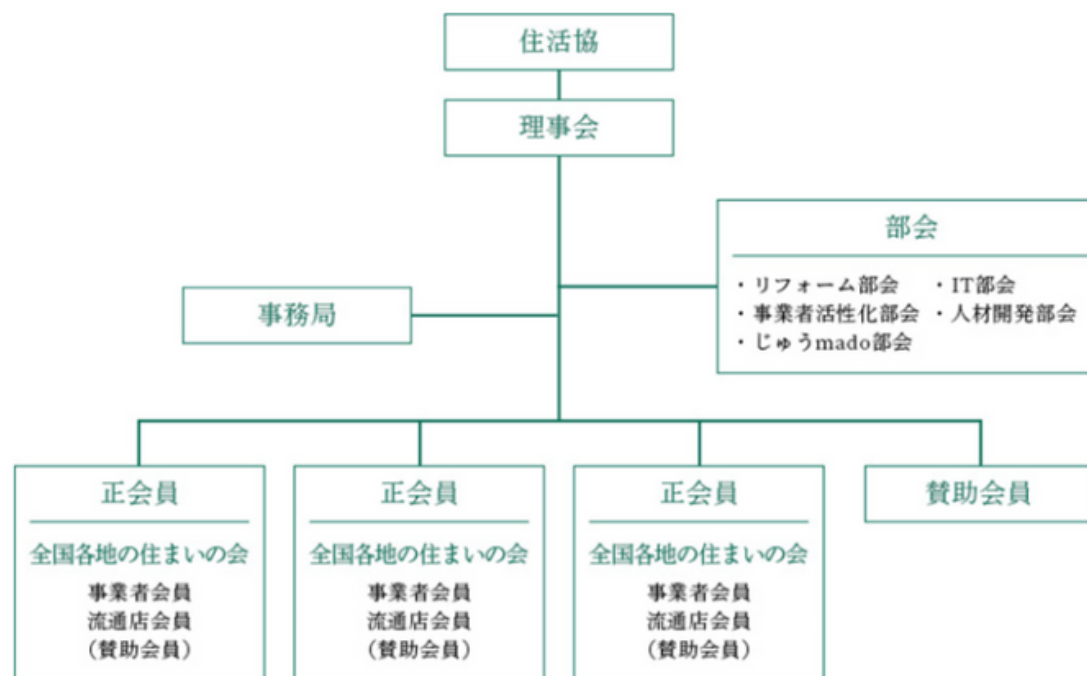
課題は多岐に渡っており
新規入職者を迎え入れるためには、住宅産業構造全体での合理性を上げて、教育する余力を作ること、技能・技術両面でのキャリアマップの作成及び体系的な教育環境の構築する事、労働環境及び待遇の改善する事など総合的に見ていく必要があるのでは、と感じる。
特に住宅産業の人材が乏しい地方において、すまいの維持管理や災害時の復旧への対応が困難になってきており対応が急がれる。

③目指すべき姿

やりがい × 働きやすさ = 働きがい、のある職種への昇華が求められる。

②住活協で取り組んでいる事

住活協は、資材メーカー(川上)、流通店(川中)、地域の事業者(川下)で構成されている組織、各地域会を持ち事務局は流通店が担っている。



流通店の市場における役割は時代と共に変化しており、産業コード上の業種は卸売だが、現在では金融支援、情報発信、人手不足補助、材工請負など様々な面で工務店をサポートしており、地域の住宅建築におけるインフラを担うサービス業という一面を合わせ持っている。

②住活協で取り組んでいる事

全国各地、日々の事業活動における接点の中で工務店の大工が高齢化、減少している事、既に工務店さん単独で採用・育成していくのは難しい状態になってきている事を問題と捉え、地域建築の特性まで理解している住まいの会を軸として大工技能者育成インフラ整備の取組みを開始した。

建築大工の担い手確保・育成支援等事業(各地域)



②住活協で取り組んでいる事

建築大工の担い手確保・育成支援等事業(全体研修)

年に1度全国の受講生を集め座学・実技の研修を開催
個人のスキル向上だけではなく、同世代技能者の横のネットワークを作り切磋琢磨していける環境を構築する事も目的としている。本事業者の卒業生が教育指導を行うアウトプットの間としても機能しており人材育成の好循環を垣間見る事ができた。



③未来に向け、団体（業界）として目指すこと

- ①これまでの取組みの強化
技能者育成の取組み強化（エリアの拡大、体系的教育の確立）
生産性向上と労働環境の改善両輪での取組み、発信の推進
- ②キャリアプランの構築
技能・技術、資格取得、人間的成長の3本軸のモデルキャリア
プラン、再現性の高い教育体系、CCUSを合わせた評価制度の構築
- ③人材確保
技能職入職についての訴求力を上げる
若年層、女性技能者、中途入職者、外国人技能労働者
既存技能者の離職防止

地域の事業者と共に地域技能者の活性化を図り地域の暮らしを
地域で守れる環境を構築する。